

金融庁

金融庁予算全般にわたり、経済・財政再生計画を踏まえ、徹底した見直しを進める。以下の政策課題については、歳出抑制に資するため、平成28年度から新たに取り組む。

【新たな取組の概要・ねらい】

【効果】

《歳出抑制効果》

IT化と業務改革
への対応
(政府情報システムの統廃
合・クラウド化の推進)

金融庁ウェブサイトシステムについて、平成29年4月の政府共通プラットフォーム(以下「PF」)移行に向け、PFから提供される資源(施設、サーバ機器、ソフトウェア等)や、PFから提供されるサービス(運用業務)を活用し、現在、外部に委託している機器貸借業務を全て廃止し、運用支援業務を約3割縮減する。平成28年度にシステム移行作業(0.6億円を新規計上)を実施。

＜公共サービスのイノベーション＞

実施しない場合と比較して0.1億円の歳出効果が期待